

(参考)平成30年度山口県食の安心モニター概要(第2回定期報告)

1 期間

平成30年7月1日～9月30日

2 モニター結果

(1) モニタリング店舗数

業 態	店舗数
デパート	6
スーパー	127
コンビニエンスストア	8
食料品専門店	2
その他	10
計	153

(2) 食品表示等の確認回数

延べ 1,263 回

(3) 食品表示及び衛生管理の評価(店舗数)

評価	食品表示				衛生管理
	農産物	畜産物	水産物	加工品	
A	98	124	119	104	97
B	42	16	24	44	46
C	1	0	0	0	4
D	0	0	0	0	0
計	141	140	143	148	147

評価の内容

	食品表示	衛生管理
A	適正な表示が行われている(100%)	良好に保たれている
B	概ね適正な表示が行われている(99%～80%)	概ね良好に保たれている
C	不適正な表示が目立つ(79%～50%)	不適切な管理が目立つ
D	半分以上に適正な表示が行われていない(50%未満)	適切に管理されていない

(4) 疑義通報等

56 件

主な通報の内容

○表示に関すること

- ・ オレンジ、レモンに使用されていた防かび剤の添加物表示がなかった
- ・ 特売コーナーの人参に原産地の表示がなかった
- ・ 産地直送コーナーの野菜に名称の表示がなかった

○衛生管理に関すること

- ・ 食肉が冷蔵ケースのロードライン※を超えて陳列されていた
- ・ 4℃以下で保存とされている食品が、常温で売られていた

※ロードライン:冷蔵、冷凍ショーケースの積荷限界線

3 報告に基づく対応

管轄の保健所等が事実を確認し、必要な指導を行った。